

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	羽越水害50年記念事業(荒川水系)	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	坂町支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	展示会、〇〇ショー	

1. 事業目的

荒川流域に甚大な被害をもたらした昭和42年の羽越水害から50年。その間、各種の防災対策が進み、人々の防災に関する意識が薄れてきている一方、近年は気候変動が激化し災害の危機性はさらに増している。
そこで、この節目に羽越水害とその後の防災を振り返るとともに、現在直面している災害危機対応について流域の人々と考える取り組みとして本事業を実施する。

2. 事業実施体制

主催: 羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会
村上市、胎内市、関川村、小国町、新潟県村上地域振興局地域整備部・農林振興部、新潟県新発田地域振興局地域整備部、山形県置賜総合支庁建設部、国土交通省羽越河川国道事務所・飯豊山系砂防事務所・山形河川国道事務所、新発田地域広域事務組合消防本部、荒川沿岸土地改良区、東北電力(株)、荒川水力電気(株)、赤芝水力発電(株)、新潟日報社
協賛: (一社)北陸地域づくり協会
後援: 地元教育委員会・商工会、報道機関など40団体

3. 事業実施概要

- ▶ 記念シンポジウム
 - 日時: 平成29年8月26日(土) 13:20~16:30
 - 場所: 村上市民ふれあいセンター
 - プログラム:
 - ・流域中学校(関川中、岩舟中、神納中、山北中)による合同吹奏楽
 - ・講演「特別警報と気象災害への備え」(天達 武史/気象予報士)
 - ・パネルディスカッション「羽越水害の経験に学び、これからの防災を共に考える」(水害体験者、防災関係者)
 - ・防災体験ブース、写真・絵画展、防災グッズ等物産展 800名参加
- ▶ フォトコンテスト
 - ・荒川水系の「美しい風景」「川と人々のふれあい」などをテーマに募集
 - ・最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞2点など入賞20点
- ▶ 絵画コンクール
 - ・荒川流域の小学校1~3年生を対象に「川とのふれあい」のテーマで募集
 - ・特選10点、入選39点
- ▶ 羽越水害 巡回パネル展
 - ・平成29年6~9月に5市町村13カ所を巡回
- ▶ 荒川総合水防演習
- ▶ あらかわ治水巡り

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和42年8月28日に発生した羽越水害は、死者96名、行方不明者38名など甚大な被害をもたらした。近年の想定を超える大雨への対応には地域防災力の維持・向上が不可欠で、羽越水害の教訓の伝承が大切となるため、「語りつげ! 羽越水害 子に孫に」をキャッチフレーズに多様な事業を展開した。
左記の主な事業のほかにも、関係市町村各地で防災訓練やシンポジウムなどの関連イベントが生まれ、多くの参加者を集めた。長期かつ広域にわたる事業を通じ、防災への意識啓発や過去災害の伝承といった事業の趣旨が多くの人々に共有されたことと思われる。

